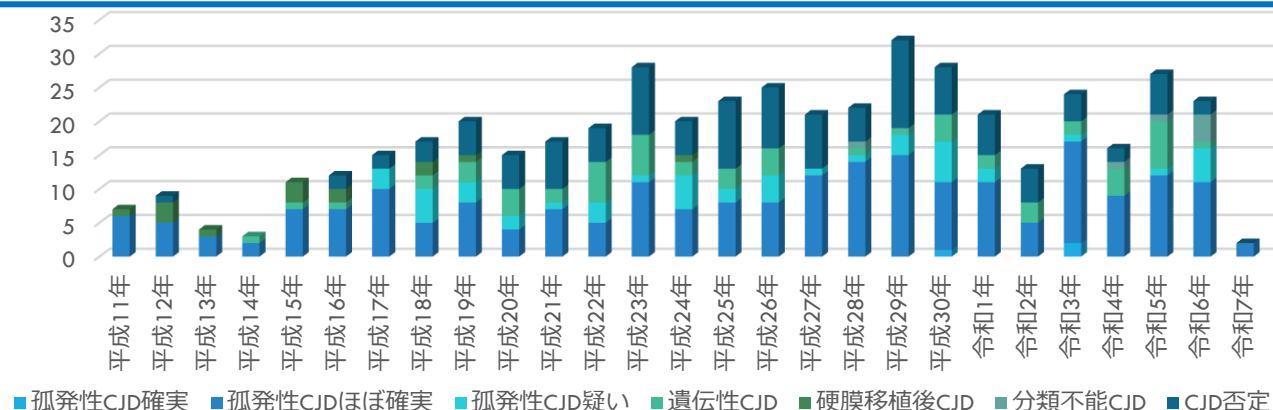
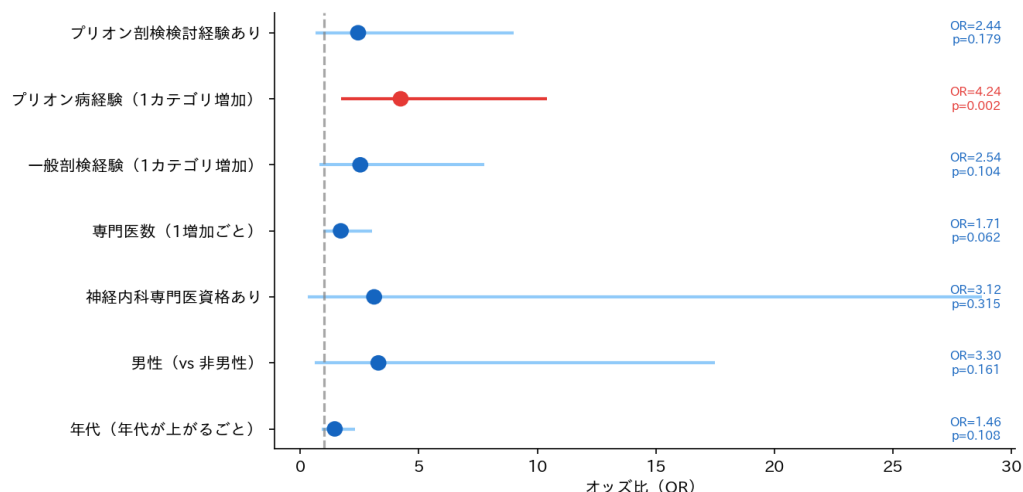


令和7年度北海道地区におけるプリオン病サーベイランス状況

研究分担者：北海道大学神経内科 矢部一郎



プリオン病剖検への積極的意欲を従属変数とした単変量ロジスティック回帰解析



解 説

- 1.令和7年度までに、北海等地區では474名のプリオン病サーベイランスを行い、352名をプリオン病と診断した。
- 2.北海道大学では令和7年度より病理医の尽力のもと、剖検受け入れ体制を構築している。それに伴い神経内科同門の医師を対象に匿名のプリオン病剖検に向けた意識調査を実施した
- 3.結果的にプリオン病診療経験数が多いほど、プリオン病剖検立ち会いへの意欲が高いことが判明し、今後の剖検制度構築において重要な知見を得た